

庄司久美子

天泣

句集
てんき

天泣の

大地七色

龍の玉

日常を素材とした句が主流で、
とりわけ俳味豊かな

取合せに作者の感性が

発揮されているのが

印象的である。

全体を通して、

三十年余り俳句を続けてきた

心の余裕が伝わってくる

句集であると感じた。

高橋将夫

相
撲
取
の
買
物
袋
春
の
風

青
柳
や
雲
に
委
ね
る
捨
聖

水無月や測量技師の棒の空

噴水のぶつぶつ呪文動物園

梅雨夕焼骨壺ほのとぬくみあり

黄道の孔雀明王針槐

ごわごわのタオルたたむや日雷

青田風ミカエル腰をおろしをり

河童忌や腕に書かれし秀真ほつま文字

鯉木あるもがり殞もがりの森の鳴子かな

秋天や大の字となり山を嗅ぐ

山神の押し出す水やななかまど

剣切羅のひねりぐあひや後の月

冬の蜂日の当たりたる岩屋かな

里坊の水こんこんと石露の花

首切りの地蔵ある村笹子鳴く

横雲やポタラの宮の虎落笛

粕汁やユーモレスクをハミングす

酉の市

胼^た
胝^こ
の
手
の
神
官
若
き
阿
亀
笹

獵
人
の
不
動
の
肩
や
山
の
道

氷
結
の
水
車
動
く
や
鯉
眠
る

元
朝
や
白
磁
の
壺
の
一
角
獣

だ
し
ぬ
け
に
袋
叩
く
子
寒
の
入

太
葱
の
土
を
落
す
や
与
太
話

胴
間
声
の
耕
人
灰
を
払
ひ
を
り

新
聞
を
切
り
抜
く
音
や
冴
え
返
る

蝌蚪生るる万のひかりを一色に

たんこぶをそろと撫でをり春の山

びろうどの吐^と喝^か喇^ら列島春の波

龍天に登るオペラの公会堂

吐く息と吸ふ息ありて豆の花

鳥の恋ほんのちひさき刺ぬけて

舟歌やひかりを纏ふ花檣

いかるがの闇を紡ぎし墓の恋

勾欄の
出くづし
や蟬時雨

袋蜘蛛
運命線の
太さかな

子守唄を
蟬にきかせ
よ鬼子母神

白亜紀の
赤き大地
や蝨斯

牛膝百会のつむじふたつかな

関ヶ原鐘馗と化する鬼やんま

着ぶくれのいかいか泣く子日本晴

薪の山冬の伊^い部^べの煙かな

百菊の香を聞くふたり神の庭

矜^{こん}羯^が羅^らの頬つるつるよ冬至風呂

凧やペンギンどんと胸を張る

木琴のユーモレスクや冬薔薇

聖樹の灯からくり人形目をあける

寒昂竜女の海にのぼりをり

濡れ紙の字の重なりて寒の入

悉曇の十三重塔寒の雨

著者略歴

庄司久美子（しょうじ・くみこ）

昭和二十五年 兵庫県豊岡市城崎に生れる

平成三年 「槐」 入会

平成二十年 「槐」 同人



句集 天泣てんき

和華双書

発行 令和二年五月二十四日

著者 庄司久美子

発行者 姜琪東

発行所 株式会社 文學の森

〒一六九一〇〇七五

東京都新宿区高田馬場二一ー二田島ビル八階

tel 03-5292-9188 fax 03-5292-9199

e-mail mori@bungak.com

ホームページ <http://www.bungak.com>

印刷・製本 有限会社青雲印刷

©Shoji Kumiiko 2020, Printed in Japan

ISBN978-4-86438-904-4 C0092

落丁・乱丁本はお取替えいたします。